

うしろや 兩かゝとをあげ兩つま先にて右回轉して後ろを向き後下方を指す。

右 前に向くと同時に右下方を指す。

左 左足を引き右足をそろへ右食指にて左下方を指す。

こゝと思へば 左へ一步同時に左下を指す。

又あちら 右へ一步同時に右下を指す。

つはめの様な 兩手を開き羽ばたきしつゝ一回轉

翫物の教育(二)

現今の教育は、國家も教師も研究には些の遺漏なく、又、あらゆる努力をして居るのであるが、實際の成績はとすると、それに報ふるには餘りに貧弱である。而して、若しも教育が、此方向其まゝでは、幾ら進んでも、幾ら足掻いても、彼岸を見ることは到底出来ないやうな氣がする。そして現在の形式法はもう行詰りである。外面法より内面法に移らなければならぬ破目に陥つてゐるのである。即ち我、大

す。

早業に 兩手を拱ぬきて蹲踞し頭を左へ傾け右上を見る。

鬼の辨慶 直立し兩拳を握り體の兩側より少しく離して張る。

あやまつた 兩手を少し前へ上體を屈して再び正位に復す。

大日本翫物教育協會

久門 嘉裕

日本翫物教育協會は、翫物による、内面的、外面的徹底法の宣傳を使命とするのである。けれども、何も新説でも獨創でもなく、又面倒臭いむづかしい、言ふは易く行ふは難しといふやうなものでない。要は讀んで字の如く、翫物で教育しようといふのである。從來とても、學校に於ても、翫具は盛に用ひられて居るのであるが、其取扱は子供の翫物本能とは、全くかけはなれて、堅苦しい教具といふ資格になつ

て、子供の親しみからは遙かに遠かつてしまつてゐるのである。家庭に於ては、玩具は、唯、子供を喜ばせるものだといふ考へだけである。随つて、現在に於ては、教育的効果よりは、害の方が大きくなつてゐる。幼稚園は、元來玩具教育の本場だけに、玩具の教育といふ意味は強いのであるが、一般玩具からは採用の出来るものは一つもない。先づ頼りにするものは、フレイベル氏の所謂恩物が主で、それに近頃のモンテッソーリ式の道具が用ひられてゐる位で、玩具教育の本場としては甚だ貧弱なものである。それに、遺憾ながらフレイベル式も、モンテッソーリ式も、未だ、玩具に對する眞の諒解がない。恐らく理屈が先きに走つて、實際が後に遅れてゐるの感がある。即ち、大人の頭で子供に強いる教具になつて、動もすれば、形式的に流れ、所謂小學校の教科書と同性質のものになつて、遂に折角の玩具も子供の玩具的本能とは離れてしまつてゐるのである。其よい例證として述べんに、試に多くの幼稚園を參觀したときに、これはよい方法であると感じる實際法は、必ずフレイベル方法でもモンテッソーリ法でも、又傳習所法でもない。毎日の實際からの要求に

對し、其先生の獨特の工夫から出た、實に、切れば血のほとぼしるやうな、活々した方法である。即ち子供の玩具的本能に共鳴したる眞の保育法であるからである。

(未完)

○ぬきがき

文部統計摘要(大正九年一月刊行)の内から
(大正八年三月末日における幼稚園に関する統計)

公 立 幼 稚 園

種 別	公 立	私 立	總 計
園 數	247	428	675
保 姆	802	1080	1882
幼 兒	28169	27070	55239
保 育 滿 期 者	18468	14173	32641
一園ニツキ保姆比例	3.25	2.52	2.79
一園ニツキ幼兒比例	114.04	63.25	18.84
一保姆ニツキ幼兒比例	74.77	33.11	48.36